

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-223-3235(舟江図書館)

年度	令和4年度		
施設名	新潟市立舟江図書館	所管部・課	中央図書館
施設の設置目的	図書館法第10条の規定に基づき、図書、記録その他必要な資料を収集・整理・保存して市民の利用に供し、その学習、調査研究、レクリエーション活動等に寄与することを目的とします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R4.7.1
歳入	中央に含む	正職員	0	修正日	
歳出	中央に含む	会計年度任用職員	4	評価日	

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標				
1	市民	多様化するニーズに応えるため、来館者数を維持します。	開館日1日当たりの来館者数(人)	120	77	84	99	第二次図書館ビジョン評価指標 臨時休館、貸出延長終了を踏まえR3年度の20%増を目標とする。			
2	市民	市民の身近な課題を解決するためレファレンス(調査・相談)サービスの充実と周知を図ります。	レファレンス(調査相談)件数(件)	486	784	1,114	1,150	第二次図書館ビジョン「ア市民の生涯学習や課題解決を支援します」 R3年度より微増の値を目標とする。	・利用者の依頼による調べ物の調査援助や相談業務		
3	市民	自館の蔵書がより活用されるよう定期的に展示替えを行い、魅力ある書架づくりに努めます。	テーマ展示回数(回)	23	20	30	30	第二次図書館ビジョン「イ特色ある地域づくりのために地域資料を収集・活用します」 一般・児童を月1回、またミニ展示を工夫し、R3の大幅増大の実績を維持する。	・テーマ展示		
4	人材育成	職員の職務遂行能力(専門的能力・接遇)の向上を図ります。	職員のスキルアップのための研修への派遣及び内部研修受講職員数(人)	20	15	35	35	第二次図書館ビジョン「ア市民の生涯学習や課題解決を支援します」 各自、年4回の研修参加を目標とし、R3実績を維持する。	・各種研修会への参加		

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
地域のニーズに応じて、必要な資料を収集し蔵書の充実を図るとともに、魅力のある棚づくりを目指します。 また、図書館ネットワークや蔵書を活用して利用・レファレンスの拡大を図ります。職員は研修により専門的技術の向上に努めます。	